



「G-works 2月号」2013年12月21日発売 (毎月21日発売) 第6巻 第2号

21世紀究極のクルマ改造本!

G-works

G-works

G-works

オリジナル!!

特別付録!!

キータグ!
今号だけ!

ジーワークス

豪華
全
巻

車高短の世界観!!

2014
2
特別定価 630円

S81E



レクサス・40-V8
by Rocky Auto



キャブレターを

装着する!!

ALL NEW 80's



FC3S



仙台ドラッグ!

WORK
ホイールマフリング

素人板金!! 1日で、どこまでできる?



最後期S31ボディをさらに補強し、トルクUPに対処



昭和53年式S31改

室内紹介

ステアリングとシフトノブだけ交換で、S31の雰囲気を全く壊していないのがこの車輛のポイントでもある

シートはブラックのレカロクライニングタイプを運転席、助手席共に装着し室内の雰囲気に合わせて快適なドライブを約束

トランクルームもしっかりと製作。2人乗りの荷物置きとしてもちょうど良いサイズ。実はこの裏側には樹脂製の燃料タンクが装着されていて、サビの心配もなくしかも容量も多くなっているから航続距離も長い。ちなみに燃費はとても良く、例えば高速道路ではリッター12キロ以上走ったとか



↑助手席前、ダッシュボード下をよく見ると見慣れないものがあるけど、これはエアコンなどの補機類が入っていて、裸にするのではなくさり気なくカバーを掛けることで高級感を演出

→S31オリジナルの...と思ってしまうが、実はヒーターコントロールスイッチ等は丸ごと交換されている。そう、オートエアコンの操作系を現行車からごっそり移植し、カバー等を製作してS31の雰囲気を壊さないよう考慮。ということで空調コントロールは完璧。配線類も現行車を流用しているから電気系のトラブルも心配がいらない



→右のスピードメーターはノーマルを使用しタコメーターは電装品だ。真ん中の油圧計もさり気なく塗装やワイパーレバーやライトスイッチを現行車を移植。オートライトや時間調節ワイパーなど普通に使用できるようにステアリングコラムもしっかりカバーされているから、違和感も全くない

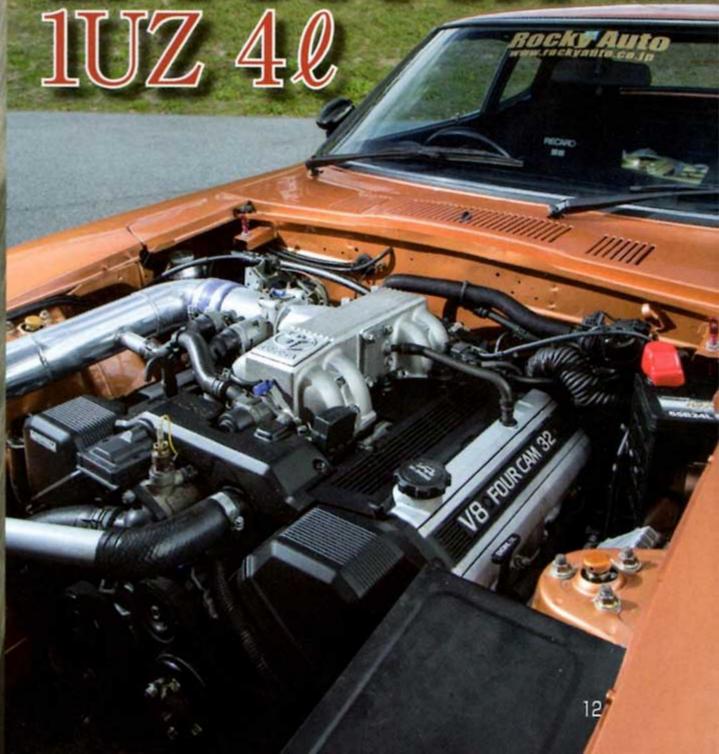
レクサスV8が遂にS31ボディに!!



見ただけでは分かりにくいチューニングカーを、実際に乗ってみようという「石川編集長の乗ってみなさやわかんねーゾ」コーナー。今回は拡大版として2台のスペシャルなクルマを紹介しちゃいます。その2台とは旧車人気を支えているS30系とケンメリ。と言っても、普通のクルマじゃないんですわ〜それでは早速紹介していきましょう!!

石川編集長の乗ってみなさやわかんねーゾ
拡大版

in TOYOTA UZ 4e



鬼トルクが軽量ボディを引っ張る

旧車のボディに現行系エンジンを搭載することによって、現在の道路事情に合いつつ、その他の補機類も移植できることにより快適性も確実に上がる...というコンセプトは、もう旧車界の常識として定着しているけどその中でも筆頭に上がるのが愛知県・岡崎のロッキーオート。そのようなユーザーの要望に応えたクルマを何台も世に送り出しているけど、今回はその中でも「スーパード」。

最初に紹介するのがレクサス（セルシオ）に搭載されるV8エンジンをS31に搭載した車輛。以前箱入りで同じパッケージを作ったけど今度はS31に載っけちゃいました。外觀も大人なイメージでまさかレクサスV8が載っているように見えないけど、エンジンを始動するとアメリカンV8ほどの派手さではないサウンドを奏するのも好印象。さっそく走り出してみるとそのトルクの太さにはやっぱり脱帽ですがトヨタのV8、とても扱いやすいが回転が2500rpmから上は前に進む力が凄すぎて、慣れるまでアクセルを開けるのをためらってしまうほど。暴力的な加速ではないV8大排気量の加速力そのものだけに、ホイールベース・軽量ボディとの組み合わせはドキドキ感を味わえるチューンドの乗り味。アクセルをゆっくり踏んでいけば鬼トルクでゆったりも走れ、その気になれば暴力的な加速をする。だけど、エアコン等で快適というこの上ない幸せを感じる事が出来るS31改だ。



FRONT



SIDE



REAR

足回り紹介

ロッキーオート S30系のクルマに多いのが「前後異径」サイズ。これによって S31のスタイルの良さがさらに際立つと渡辺社長。オーバーフェンダーとのマッチングも実に良く、フロントスポイラーとの繋がり感でどっしりとした印象も強い



FRONT



REAR

↑下回りも見ればその仕上がりの良さに納得。ロッキーオートではこのような車輛に全てボディ補強も行っているから、高トルクエンジンも受け止められる

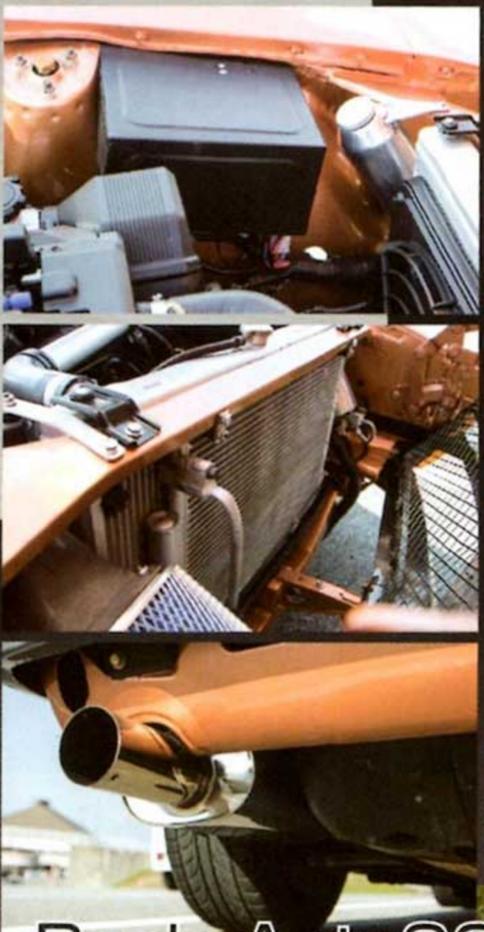


FRONT

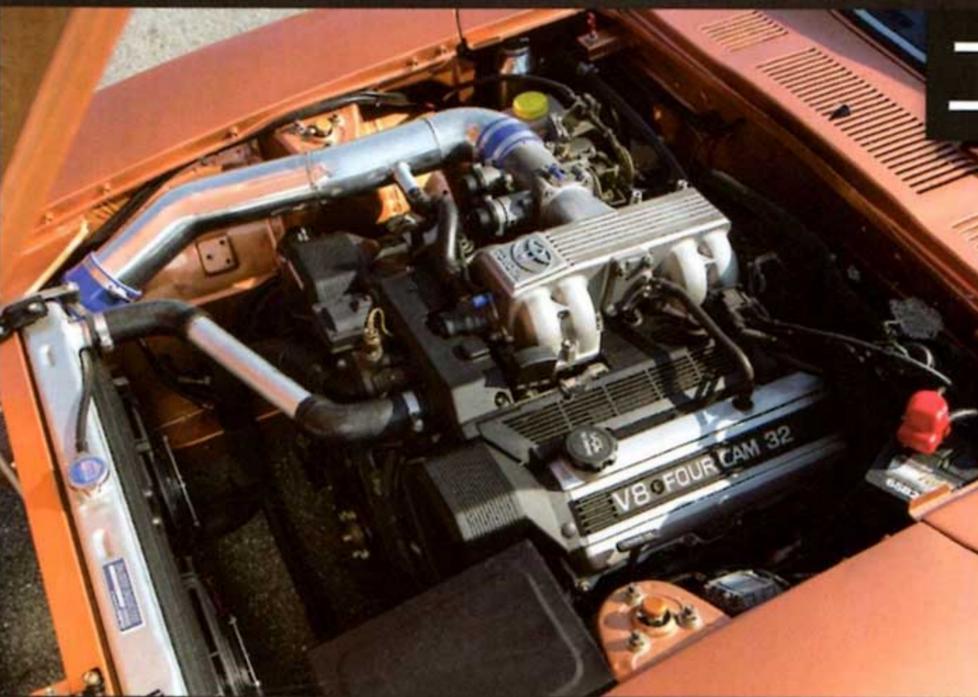


REAR

前後 TE37V を履くが前は 16 インチで後ろは 17 インチ。細かいサイズは前 8.5J オフセット -6 でタイヤは 215/50、後ろ 10J オフセット -20 タイヤは 235/45-17。ブロンズカラーも似合っている。ちなみに車高調整はアラゴスタで、前後ブレーキもタイプ M 系の 4 輪ディスクに交換されている



エンジン紹介



↑エンジンにはトヨタ 1UZ で 4000cc。V8 の 32バルブツインカムエンジンを搭載しているが、載せ替え感も皆無でホントにすっきり収まっている。重量は気になるどころだけアルミを多用したトヨタ V8 を、フロントタイヤ軸よりも後ろに置いたことでむしろバランスは良いかも。ハーネス類もワンオフの BOX 内にまとめたりコンデンサーをラジエター前に配置してすっきりと収まっている。マフラーはワンオフのステンレス製で音は控えめ(公認車輛)だけど、図太い低い音



↑熱量の多い V8 4 リッターだけだと大きめのアルミラジエターと電動ファンで対処。マスターシリンダー & マスターバックは日産の大型をチョイス

RockyAutoS31 in1UZ 40

大人のエレガンス的要素ムンムンの 1UZ を搭載した S31 改。ロングツーリングから街中の買い物まで、気兼ねなく使える。毎日乗れるチューンド旧車だ

石川編集長



究極のケンメリ。

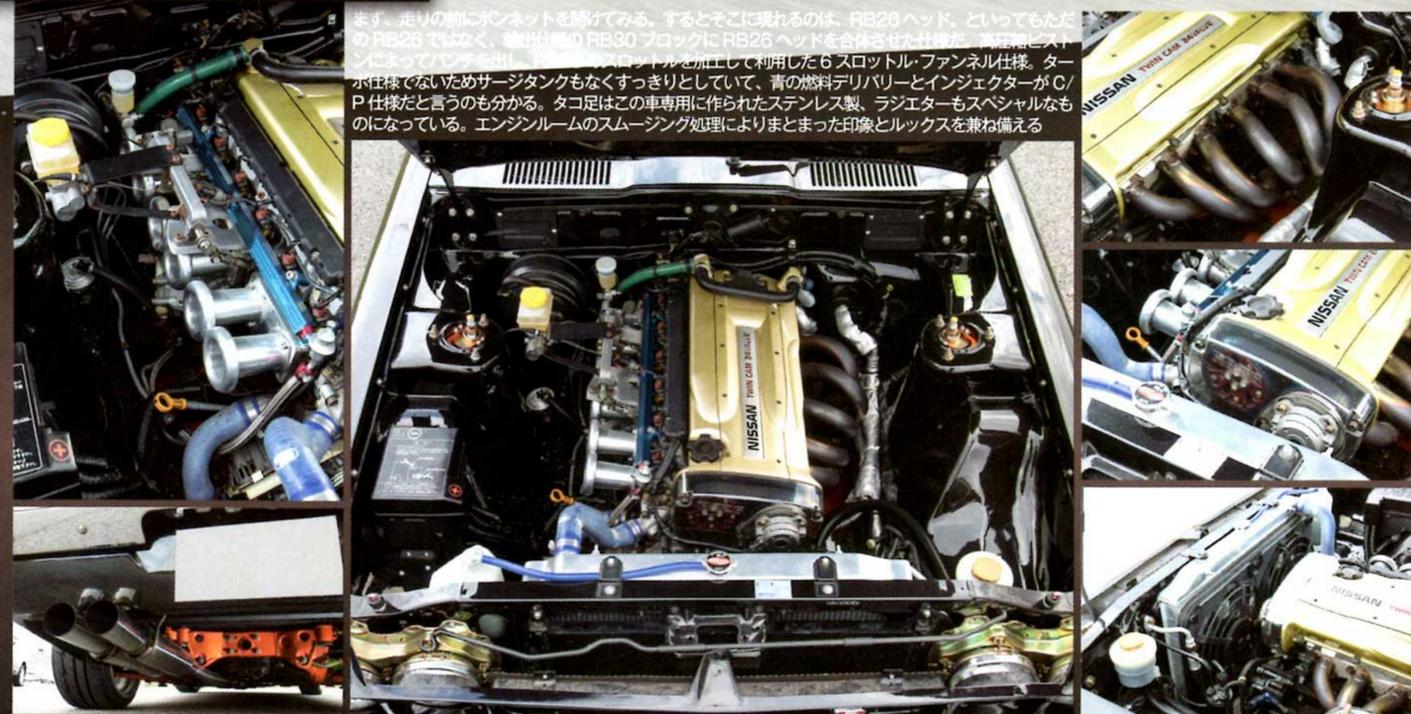
乗りこえてみたかったあのクルマ
 50周年記念特別企画
 拡大版



KGC110 inRB30NA3Ⓔ

ここまで仕上げられているケンメリは数少ない…
 と感じてしまうほどの出来映えで自分の目の前に
 現れた KGC110 改。あえて直 6、NA に拘っ
 たその作り込みをじっくりと見て頂こう

エンジン紹介



まず、走りの別にECUネットを購置してみる。するとそこに現れるのは、RB26ヘッド。といってもただのRB26ではなく、輸出仕様のRB30ブロックにRB26ヘッドを合体させた仕様だ。ヘッドはECUネットによってパワーステップアップ。スロットルを加工して利用した6スロットル・ファンネル仕様。ターボ仕様でないためサージタンクもなくすっきりとしていて、青の燃料デリバリーとインジェクターがC/P仕様だと言うのも分かる。タコ足はこの車専用で作られたステンレス製。ラジエーターもスペシャルなものになっている。エンジンルームのスムージング処理によりまとまった印象とルックスを兼ね備える

ケンメリの形をした 現代のクルマ

拡大版



昭和51年式KGC110改



足回り紹介

「目立つオレンジのカラリングで、際手張っているのがポイント。それは華やかさにはな
 たり破れていて、ノーマルのケンメリではここまで落としたり跳ねまくってしまつたレ
 ンズも、ハンドリングも良くトラクションも掛かるから、純正並に走れる。ちなみにリン
 クは調整式でアライメント調整も可能。車高調整は前後ともアライメント調整式だ。

内装を改装して装着
 R33スカイラインの
 初っはなから言います、この
 クルマ凄いです。見れば分かる
 と思いますがその仕上りの良さ
 や拘りがハンパ無い。外装はち
 よつとワル目なケンメリ。塗装
 の磨き込みも尋常でなくそれこ
 そショーカールレベル。ダークな
 紫と敢えてそれよりも濃いめに
 塗装したオーバーフェンダーが
 さるに迫力を増す。
 室内に乗り込むと革張り風の
 シートとダッシュボードからケ
 ンメリじゃない!! リヤシートも

R35風、もう参りましたつて感
 じて走り出すとこれまた乾いた
 NAサウンドでさっそうと走り
 出す。パワステ付きのラックア
 ントビニオンのハンドリングも
 実に素直、そして何よりマルチ
 リンク化 (R33足回りをそっくり
 移植) された足によって、下
 手に踏んでもしつかり粘る足。
 そしてこれだけ下がっている車
 高なのに乗り心地もいい…。こ
 れほどまでに完成されたケンメ
 リはないんじゃないの?と思わ
 せるほど、悪いところが見つか
 らない完成度のKGC110改だ。

ゴールドブレンボを丸呑みするホイールはワーク製で、この敢えてビス留め風のオーバーフェンダーに合わせたサイズ。前215/40-17、後ろ255/35-18でこちらもS31同様前後異径。これだけ太いに飲み込んでしまうのもケンメリの特徴



FRONT



SIDE



REAR

車高の低さ、そしてこの雰囲気は世界中どのクルマにも出せない、ケンメリ独特の世界観。このスタイルに惚れてケンメリに憧れる人が多い。だけど実際はこれだけ低くて17+18インチだと乗り心地に期待は出来ないけど、マルチリンク化することによって普通に乗りこなす

室内紹介



↑センター集中スイッチ類を見ると現代のクルマだけど、これは紛れもなくケンメリ。エアコン付き空調コントロールスイッチに埋め込み式のナビを装着。ワイパー系もライトスイッチもR33を使用しているのでオート機構満載。ちなみにミッションは71C



↑「これがケンメリの室内空間？」と思うほど、キレイに作られた室内。ダッシュボード系はR33を使用しバックスキンを張り高級感を演出



↑メーターは集中デジタル表示のレースバック、パワーウィンドウのスイッチやドア内張り、レカロシートや、センター部分にバックスキンを貼った天面など拘りの内容。しかし作りに嫌みがないからオリジナル風（と言っても全然違うけど）に仕上がっているのもこのクルマの特徴



↑リヤシートはもはやワンオフの世界、R35GT-R風にセンターにウーハーを備え、パーセルセルフにもスピーカーを配置。トランクもキレイに仕上げているけど燃料タンクはこちらも敢えてノーマルを使用



Rocky Auto KGCT10 inRB30NA3.0ℓ

当時の思いを載せ、現代の技術で乗るケンメリ。感嘆深い...
だけど落ち着いてドライブできる不思議なクルマ

by 石川編集長



取材協力

Rocky Auto



貴重なオリジナル車の販売から今回紹介したスーパーなクルマまで、ユーザーの要望に沿ったクルマを提供するロッキーオート。特に現代の交通事情にあったクルマ作りが得意で、あらゆるものを提案してくれるアイデアマンでもあるのが渡辺社長だ
愛知県岡崎市明大寺町字大塚 55-31 Tel:0564-58-7080

New Size 16inch Debut.



バフフィニッシュ (BBF)

16



マットカーボン (MGM)

15



マットカーボン (MGM)

14

CR01

3PIECE SIZE : 15 / 16in COLOR : MAT CARBON / BUFFED FINISH

CR01R

2PIECE SIZE : 14in COLOR : MAT CARBON

れ る 新 た な る H I S T O R Y



in appreciation **RS STWT** RockyAuto

東京オートサロン2014に出展いたします

TOKYO
AUTO SALON
2014